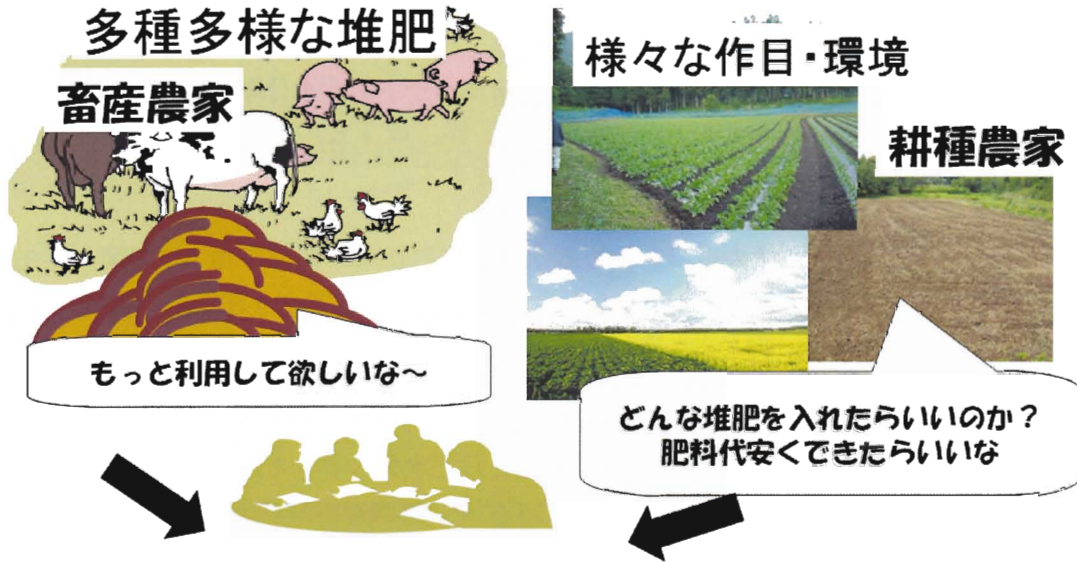


家畜ふん堆肥の有効活用のためのWEB上で利用できる「土壌診断・堆肥流通支援システム」

利用対象：畜産農家および耕種農家



これらの情報を持っているのは
専門家(普及員や指導員) → 相談が必要！

これからは
土壌診断・堆肥流通支援システム
(<http://www.taihi.pref.mie.lg.jp/>)

堆肥情報登録届・土壌情報登録届を普及センターに出せばWEB利用でいつでもどこでも！

堆肥成分、畜産農家の情報提供

土壌中成分の過不足を診断 堆肥を選べば施用量も分かる



畜産農家：自分の堆肥の特徴を紹介し利用促進につながる！

耕種農家：自分の圃場にどんな堆肥をどれくらい入れるかが分かる！

1. 背景とこれまでの課題

環境保全型農業を推進するうえで、家畜ふん等の堆肥を利用した土づくりは、非常に重要にもかかわらず、畜産農家にとっては「誰がどんな堆肥を必要としているのか」、耕種農家にとっては「目的の堆肥がどこにあるのか、また、どれだけ施用したら良いのか」という情報不足のために堆肥の利用は必ずしも進んでいませんでした。

そこで、こうした堆肥利用者や畜産農家の知りたい情報がインターネット（Web システム）を用いて簡単にそして双方向で得られるようなシステムを作りました。これを利用いただくことでコンポスト（堆肥）の活（カツ）用が進む、いわば堆肥のコンカツ（婚活）システムであると考えています。

2. 成果の概要

- (1) 開発したシステムは、土壌診断データ入力、堆肥情報提供、土壌診断結果と処方せん作成機能などを有しています。これにより、利用者である耕種農家は自宅から Web システムを利用し、迅速に必要な情報の提供を受けることができます。
- (2) 本システムには、家畜ふん堆肥を全県的に登録しています。登録されている堆肥については、地域別にその所在、畜種、原料、主たる副資材、堆肥化期間、全窒素・リン酸などの化学的成分に加え、肥効率等が記載されています
- (3) 耕種農家は、土壌診断結果に基づき土壌診断データを入力、登録することでシステムが利用可能となります。土壌診断結果は、栽培作物を選択することで自動表示され、家畜ふん堆肥の施用量は、作目毎の県施肥基準に基づいて、家畜ふん堆肥の全窒素含量に代替率、肥効率を考慮して決定され、表示されます。

3. 成果の慣行技術への適合性と経済効果

- (1) 三重県土壌診断・堆肥流通支援システムのようなインターネットを活用した堆肥と土壌の情報が広く耕種農家に発信することが可能となれば土壌改良資材や有機質肥料としての利用促進が一層進むと考えられます。
- (2) 耕種農家にとっても堆肥の性質・所在地等を容易に知ることが可能になり、合わせて土壌診断結果を得ることで、適正な施肥量を把握することができます

4. 普及上の留意点

- (1) インターネットが利用できる環境であれば、誰でも検索利用が可能ですが、個人情報保護の関係から、土壌情報および堆肥情報登録には登録手続きが必要です。
- (2) 本システムは、2004年9月から運用を開始しています。下記のURLからアクセスして下さい。
土壌診断・堆肥流通支援システム URL <http://www.taihi.pref.mie.lg.jp/>

お問い合わせ先	農業研究所 循環機能開発研究課 梶田 電話 0598-42-6361 中央農業改良普及センター 下 電話 0598-42-6715
参考になる資料	2006年 農業および園芸 81巻・12号 1294 - 1300頁
研究実施予算	国予算（簡易低コスト家畜排せつ物処理施設開発普及促進事業）